

2013年12月13日(金) 8:30～開場・受付開始

会場：まつもと市民芸術館

● 9:30～ 9:55 オープニング

● 10:00～12:30 信州大会シンポジウム

「子どもの虐待死を着実に減らす戦略～官民で考える目標の設定と具体的行動～」

司会 鷺澤 一彦氏
(わしざわ小児科)

シンポジスト 厚生労働省 (雇用均等・児童家庭局総務課虐待防止対策室長)

長野県中央児童相談所長

磯谷 文明氏 (くれたけ法律事務所 弁護士)

佐藤 拓代氏 (大阪府立母子保健総合医療センター 企画調査部)

指定討論者 奥山真紀子氏 (独立行政法人国立成育医療研究センター こころの診療部)

● 14:00～15:00 特別講演

「いま、いのちから…」

虐待を受けている子どもに明日まで待て、とはいえない」

作家・東京家政大学人間文化研究所特任教授 講師 落合 恵子氏



● 15:10～15:55 第20回 ISPCAN 子ども虐待防止世界会議 名古屋について

プレゼンター Julie Todd氏 (ISPCAN 理事 第20回子ども虐待防止世界会議名古屋共同大会長)

小林美智子氏 (JaSPCAN 会長 第20回子ども虐待防止世界会議名古屋共同大会長)

● 16:00～18:00 国際プログラム

「原発事故、震災、戦禍の中で生き抜く子どもたち ～極限下での子どもの権利について考える～」

オムニバス講演：共通テーマ

「極限状態の下で、子どもの権利 —いのち、生活、こころ— を守るための支援活動について」

第1部 チェルノブイリの医療支援

菅谷 昭氏 (松本市長・医師)

第2部 東日本大震災における子どもの心のケア

菊地 祐子氏 (東京都立小児総合医療センター・児童精神科医師)

第3部 小児科医から見たイラクの現状

Lika'a Fasih Y.Al-Kzayer氏
(医学博士・イラク小児腫瘍科医師)

2013年12月14日(土) 9:30～17:00

会場：信州大学松本キャンパス

- 教育講演 ●事例検討会(会員限定、事前申し込み必要、先着順) ●分科会
●研修企画 ●一般演題(口演・ポスター) ●民間フォーラム ●パネル展示

参加登録料金のごあんない

早期割引期間：8月1日～9月30日

参加申し込み先 <http://www.jaspcan.org/19th/regi>

会員…… ￥9,000 (早割 ￥8,000)

非会員…… ￥10,000 (早割 ￥9,000)

学生…… ￥3,500

(大学院生のぞく)